

ニッポン
ドクター和の
臨終区巻



長尾和宏(ながお・かずひろ)
医学博士。公益財団法人日本
尊厳死協会副理事長としてリビ
ング・ウィルの啓発を行う。映画
『痛くない死に方』『けったいな
町医者』をはじめ出版や配信な
どさまざまなメディアで長年の
町医者経験を活かした医療情報
を発信する傍ら、ときどき音楽
ライブも。

378 声優
大山のぶ代

最愛の人の死を知らぬまま旅立った幸福な最期

65歳で在宅医を卒業した僕のライ
フワークは歌うこと。11月に東京と
神戸で行うライブに向けて目下練習
を重ねています。実はオリジナル曲
もあるのですが(よかったらYouT
ubeで「コスモスを君に 長尾和
宏」と検索してください)、普段聴
いている自分の声と、録音した声が
あまりにも違いすぎてショックを受
けたりもします。

なぜ録音した自分の声は、別人の
声に聴こえるのでしょうか?

普段聞こえている自分の声は、空
気振動が鼓膜に伝わる「気導音声」
と、骨が振動して伝わる「骨導音
声」の2つの経路で耳に入ってきま
す。しかし録音した声は、「骨導音
声」はなくなります。

つまり録音した音声こそが、他人
が普段聴いている自分の声というこ
と。でも多くの方が、これは自分の



声ではない! 私は本来、もっとい
い声なのに...と妙な気分になるの
ではないでしょうか。

しかし声のプロは普段から「気道
音声」だけを意識して発声している
はずです。日本中の誰もが愛した、

この人の声も....

1979年から2005年まで、26年にわ
たって『ドラえもん』の声を務め
た、声優で俳優の大山のぶ代さんが
9月29日に亡くなりました。享年
90。死因は老衰との発表です。大山
さんは、05年に(他のキャストとと
もに)『ドラえもん』を降板。その
後08年に脳梗塞を発症。そして12年
にアルツハイマー型認知症と診断さ
れました。しかし病名はしばらく伏
せられたままでした。

夫で俳優の砂川啓介さんが彼女の
イメージを傷つけないようにと、秘
密を抱えて介護を続けていたのだ
です。子供のいなかったお二人は、芸
能界でもおしどり夫婦で知られてい
ました。しかし啓介さんは、17年に
がんで死去。僕は当連載でこう書き
ました。

<有名人夫婦ということもあり、

下の世話まで、啓介さんがお一人で
抱えていたようです。精神的に、徐
々に追い詰められていく啓介さん。

「でも、僕はカミさんにとって、た
った一人の身内。俺が頑張らなきゃ
いけないと思った」と後から振り返
っています。しかし15年、親友の毒
蝮三太夫さんから「老老介護を甘く
見るな。このままでは啓介のほう
がまいっちゃう」と言われ、公表を決
意。本まで出版しました。公表をし
たことで、自身が妻の認知症を素直
に受け入れられるようになったと語
っています。

啓介さんは自身のがん発覚後、在
宅介護をあきらめ、のぶ代さんを施
設に入所させています。葬儀にも
のぶ代さんは参列できなかったとい
います。「伴侶の死もわからないなん
て...」と認知症を嘆く人もいます
が、僕は悲劇とは思いません。最愛
の人の死を知らぬまま旅立つのはあ
る意味、幸福な最期ではないでしょ
うか。